

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	医療技術者職業体験講座		
法人名	学校法人 新潟総合学院		
学校名 ((2) のみ)	国際メディカルテクノロジー専門学校		
代表者	理事長 池田 弘	担当者 連絡先	山浦 康之 TEL024-956-0160
<p>1. 事業の概要</p> <p>医療技術職(言語聴覚士・臨床工学技士・鍼灸師・救急救命士)について業務内容の説明と職業体験の機会を提供する事で医療現場に向けての就労意欲を高める事を目的とする。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>当初企画していた内容は実施完了。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>アンケート結果では、講座内容が満足した割合が91が%(24名中22名)と高い結果となる。主な感想は「わかりやすい説明で興味が増した。」「体験授業が楽しく職業理解が深まった。」等医療技術職の中で比較的知名度が低い職業であるが、職業体験の機会を提供する事で興味増幅に繋がる事は明白である。</p> <p>③今後の活用</p> <p>医療技術職の場合、国家資格が不可欠である。但し、職種の知名度には格差が発生している事が実情。生命尊重の視点では、チーム医療が推進している現代において各技術職が重要な役割を担っていることを地域住民に発信していく事が学校の使命と考える。将来的に継続実施に取り組みたいと考える。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>更なる就業意欲の喚起には、臨場感ある体験機会を提供する事が必要。それぞれの職種において学外の施設見学をプログラムに導入し、学内の機器等を利用した職業体験を混合させた内容に改善していきたい。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

「言語聴覚士を学ぶ」参加者14名。講座内容満足回答者12名(85.7%)講座内容は次の通り。当校専任教員よりパワーポイントを活用し言語聴覚士の業務内容、勤務エリア、国家資格取得方法等について説明。実習体験は、まず認知(痴呆)機能検査について説明した後、受講生同士で実施並びにお互いで結果について検討。続いて知能検査(kohs立方体検査)について認知機能検査と同様に参加者同士で検査実施並びに結果検討。「鍼灸師を学ぶ」参加者3名。講座内容満足回答者3名(100%)講座内容は次の通り。(社)福島県鍼灸師会会長安斎昌弘氏より仕事内容、就業場所、国家資格について、資格取得の課程、職業の必要性等について講演。実習体験は、実際の臨床場面で使用する鍼(はり)を刺鍼練習機に刺入。粒鍼を経穴(ツボ)に貼着させることで立体前屈が伸びることなど身体の柔軟性が向上する現象を体験。モグサ(灸)を作り、受講生の手背に施灸体験を実施。「臨床工学技士を学ぶ」参加者5名。講座内容満足回答者5名(100%)講座内容は次の通り。(社)福島県臨床工学技士会前会長入谷隆一氏より病院における臨床工学技士の位置付け、主業務内容、扱う機器等について講演。実習体験は、臨床工学技士が取り扱う生命維持管理装置の取扱い方法や病院内でどのように管理しているかを体験。「救急救命士を学ぶ」参加者2名。講座内容満足回答者2名(100%)講座内容は次の通り。元郡山地方広域消防組合消防本部消防次長である久下現本校顧問より、消防現場の現状、国家資格について、資格の必要性等について講演。その後、本校専任教員より成人者の心肺機能が停止した方に対する蘇生技術、窒息した方の解除技術並びに包帯法を体験。

②その他

今回の体験職業が、他の看護師等の医療技術職に比べ認知度が低いと想定。職業体験もできるだけ実際の業務に近く且つ簡単な内容で実施。更に事前の職業内容説明でDVDなどの映像媒体を活用し、受講生の記憶に残るものを利用。